

①

日露戦史々料

西伯地区戦況詳報

ペ・フオン、ラング著

得利寺戦闘記事

(東部西伯利狙撃兵第九師團ノ行動)

参謀本部第四部

1680

得利寺戰圖記事

ペ、フォン、ラング著

(東部西伯利狙撃兵第九師團ノ行動)

開戦以來既ニ三箇月餘ヲ經過スルモ未タ戦局ノ大勢ヲ揣摩シ得ザリシヲ以テ從テ日本軍企圖ノ主眼ハ尙ホ不明ノ中ニ在リタリ

敵ハ朝鮮、大孤山及貔子窩附近ニ上陸セシモ未タ其企圖ノ那邊ニ存スルヤヲ判知スルニ由無ク從テ總司令官(アレクセエフ大將)ハ敵軍ノ企圖果シテ我滿洲軍ニ對シテ作戰セントスルニ在ルカ抑モ亦旅順口攻圍ニ在ルカヲ推知スルニ苦メリ

是ヨリ先キ二月總司令官ハ自己ノ意見ヲ皇帝陛下ニ上奏スルニ當リ狀況ヲ忖度シテ曰ク「日本政府ノ指揮下ニ在ル三軍中其二軍ハ滿洲軍ニ對シテ作戰スヘク他ノ一軍ハ專ラ旅順口占領ニ任スヘシ而シテ強襲ヲ以テ旅順口ヲ攻略シ速ニ滿洲ニ於ケル友軍ニ合セシムル計畫ナラン」ト

當時侍從將官クロバトキンハ旅順口ノ狀態ヲ憂慮シ總司令官ニ説クニ益々旅順口ノ防禦ヲ嚴ニスルノ切要ナルヲ以テシ且ツ該要塞ノ運命ヲ苦慮シ東部西伯利狙撃兵第九師團ヲ關東州ニ派遣スヘキヲ勸告セリ總司令官アレクセエフハクロバトキンノ勸告ヲ斥ケテ曰ク「要塞戰ニ於テ攻者ノ利益ヲ收メ得ル時機ハ一撃ノ下能ク之ヲ攻略シ得ル場合ニ限レリ今ヤ攻者ノ時機既ニ逸シ旅順口ハ後貝加爾地方ヨリ

豫備兵ノ到着セルト糧食ノ充實ヲ謀ルト共ニ夜ヲ以テ日ニ繼キ益々築城工事ヲ施スニ至リタルヲ以テ多ク憂フルニ足ラサルナリト且ツ總司令官ハ要塞防禦ニ當リ露兵カ歴史の堅固ナル耐忍力ヲ有スルコトニ信賴シ以爲ラク「強勇ナル砲兵ヲ有スル旅順在來ノ守備兵ヲ以テ防禦力全然十分ナルヘシ況ンヤ艦隊ハ未タ戰鬥力ヲ失ハサルニ於テオヤ」ト

總司令官カ如上ノ意見ヲ述ヘタル以來三箇月間ニ於テ要塞ノ陸正面ニ施行セシ防禦工事ハ彼ノ旅順口不落ノ信用ヲシテ益々鞏固ナラシメタルカ如シ然ルニ敵軍魏子窩附近ニ上陸スルニ及ヒ總司令官ハ敵ノ此地ヨリ南方旅順口ニ對シテ作戰スヘキヲ察知シ同要塞ノ難攻不落ニ就テ始メテ危懼ノ念ヲ懷クニ至レリ

既ニシテ日本兵カ損害ヲ顧ミス大舉シテ金州陣地ヲ占領スルニ及ヒ總司令官ハ忽チニシテ從來ノ所信ヲ翻シ旅順口ハ到底敵ノ壓迫ニ耐ヘサルノ觀念ヲ抱キ遂ニ滿洲軍ノ若干部隊ヲシテ南方ニ向テ決戰的行動ニ轉セシメ以テ要塞ニ對スル敵兵ノ大部分ヲ牽制セント企ツルニ至レリ ステッセル中將モ亦自巴ノ指揮下ニ在ル陸方面ノ設堡地帯ハ防禦ニ適セサルモノタルヲ具申シテ曰ク「旅順口ハ固ヨリ要塞ニ非ス日本兵ハ最モ僅少ナル時日ヲ以テ之ヲ攻略シ得ヘシ」ト

是時ニ至ル迄尙ホ滿洲軍司令官タリシ侍從將官クロバトキンハ總司令官カ去ル二月以來大ニ要塞防禦ニ盡瘁セシニ拘ハラス今ヤ俄然トシテ其意見ヲ豹變セシニ一驚ヲ喫シ又ステッセル中將ノ意見ニ反對シテ「ステッセルハ今ヨリ一箇年前旅順口ヲ觀タル時其要塞ノ甚々強固ナルヲ證明シ假令日本全軍長

時間ヲ費スモ尙ホ之ヲ攻略セ得サルヘシト傲然放語セリ」ト云ヒ且ツ「要塞ノ防禦力ハ主トシテ其司令官ノ勇怯如何ニ懸ル故ニステッセル及其軍隊ニシテ苟モ一身ヲ祖國ノ犠牲ニ供シテ凜乎トシテ敵ニ當リ各々其任務ヲ遂行スル間ハ旅順ノ運命ハ毫モ危殆ニ瀕スルコト無カルヘシ敵ノ一週日ヲ以テ旅順口ヲ占領シ得ヘシトノ聲言及現今ニ至ル迄海陸ニ於ケル敵軍ノ好成績カ恐クハ要塞ノ不落及其兵力ニ關スルステッセルノ意見ヲシテ一變セシメタルモノナルヘシ」トノ意見ヲ發表セリ

此等ヲ理由トシ侍從將官クロバトキンハ未タ増援ヲ受ケサルニ先タチ南方ニ向テ攻撃ニ轉スルハ時機ニ適セサルモノト思惟シ之ヲ中止スルニ努メタリ何トナレハ攻撃ノ爲メ十分ノ兵力ヲ集結セント欲セハ東方支隊ノ正面ハ勢ヒ甚タ薄弱ナル兵力ヲ以テ占領セサルヲ得ス然ルニ敵ノ黒木軍ハ其兵力比較的薄弱ナルニモ拘ハラズ之ヲ一地點ニ集合スルニ於テハ隨意ノ地點ニ於テ南方支隊ノ背後交通線ヲ突破シ以テ滿洲軍トノ連絡ヲ切斷シ得ヘケレハナリ

敵ノ岫巖ニ向フ企圖ハ前述計畫ノ益々成功スヘキヲ意味スルニ至レルヲ以テクロバトキンハ總司令官ヲシテ時機未タ熟セサルニ先タチ南方ニ向テ攻撃ヲ中止セシムルニ努力セリ殊ニクロバトキンノ憂慮セシハ黒木軍ノ攻撃ト我旅順口救援ノ行動ト同時ニ偶發センコト是レナリ蓋シ敵ノ二師團奉天ニ向テ迂迴運動ヲ企テタリトノ風説若シ事實ニシテ而カモ果シテ運動其効ヲ奏セシ場合ニ於テハ南ハ旅順口ヨリ起リ北ハ鐵道ニ沿ヒ日露兩軍交々相錯綜シ我軍ノ爲メ殊ニ甚タ不利益ナル各部隊ノ交錯ヲ來スニ

至ルヘケレハナリ詳言スレハ關東州ノ南方ハ露國兵ニシテ次ハ日本兵、次ハ又黒木軍ニ切斷サレタル我攻撃部隊又其次ハ遼陽奉天間ニ於ケル我軍隊即チ奉天ニ向テ迂迴運動ヲ執リタル敵縦隊ノ爲ニ増援部隊ト其連絡ヲ斷絶サレタル軍隊ヲ生スヘケレハナリ此等ノ主意ヲ列舉シツ、軍司令官ハ旅順口ノ運命ニ關シ侍從將官アレクセエフニ披陳スルニ情況ノ許ス限リ早晚旅順ニ援助ヲ與フヘキヲ約シ刻下ニ在テハ軍ノ一小部隊タリトモ之ヲ分ツハ遼陽方面ニ於ケル我防禦ノ基礎ヲ破壊セシムルモニシテ其不利益モ大ナル旨ヲ以テセリ

爾後ノ事態ニ徴シテ吾人ノ知り得ルカ如ク侍從將官クロバトキンノ此見解タル甚タ正當ニシテ即チ同將軍ハ遼陽ニ於ケル決戰ノ爲メ專ラ兵力ヲ集中スルニ盡セリ旅順口ノ防禦ニ至テハ豫想セシ如ク遼陽會戰後尙ホ克ク久キニ耐ヘタリ却説總司令官ハ訓令ヲ以テ攻撃ニ轉スヘキヲ要求セシヲ以テ侍從將官クロバトキンハ竟ニ總司令官ノ意見ニ從ヒ南方ニ向フ爲メ西伯利第一軍團長中將男爵シタケリベルグニ命令ヲ下セリ是レ實ニ千九百四年六月七日ナリキ

是ニ於テシタケリベルグ男ハ第一ノ處置トシテ先ツ軍團ノ諸隊ヲ海城ヨリ得利寺附近ニ集合セシメサルヘカラス加之軍團ノ中前方ニ突進シ在ル部隊ノ給養ノ爲メ輜重ヲ南方ニ差遣セサルヘカラサルハ勿論營口及蓋平ノ守備隊タル東部西伯利狙撃兵第九師團ノ各部隊ニ代フルニ西伯利第三師團ノ各部隊ヲ以テセサルヘカラサリキ

西伯利第一軍團長ノ指揮下ニ在リテ行動スヘキ部隊左ノ如シ

西伯利第一軍團全部（歩兵二十四大隊、野砲六十四門、騎兵六中隊）護境哥薩克騎兵二中隊、山砲四門、歩兵第三十五師團第二旅團（歩兵八大隊、野砲二十四門）西伯利哥薩克騎兵師團ノ第四、第五及第八聯隊並ニ後員加爾哥薩克騎砲兵第三中隊（砲六門）
總計歩兵三十二大隊、野砲八十八門、騎兵（哥薩克其他ノ騎兵共）二十六中隊、騎砲兵六門及山砲四門

此等ノ部隊ハ作戰ノ初期即チ六月七日ニ至ル迄ニ左ノ如ク配置セリ

瓦房站ニ在ルシモノヲ中將ノ前進騎兵支隊

沿海州龍騎兵聯隊（六中隊）

西伯利哥薩克騎兵師團ノ第四聯隊（三中隊）

・同第八聯隊（六中隊）

東部西伯利狙撃兵第十三聯隊所屬乘馬獵兵 一隊

後員加爾哥薩克騎砲兵第二中隊（？）（砲六門）

小計 騎兵十五中隊、乘馬獵兵一隊及騎砲六門

復州ニ在ル獨立監視哨

西伯利哥薩克騎兵師團第五聯隊ノ一中隊

得利寺南方八露里ニ在ルルトコフスキ少將ノ前衛

東部西伯利狙撃兵第二聯隊 (三大隊)

西伯利哥薩克騎兵師團第五聯隊ノ一中隊

東部西伯利砲兵第一旅團第一中隊 (砲八門)

小計 歩兵三大隊騎兵一中隊野砲八門

得利寺附近ニ於ケル主力

東部西伯利狙撃兵第一聯隊ノ三大隊

同第三聯隊ノ三大隊

同第四聯隊ノ二大隊ト四分ノ一

同第三十六聯隊ノ二大隊ト四分ノ三

東部西伯利工兵第一大隊ノ一中隊ト二分ノ一

護境哥薩克騎兵第四十二及第四十八中隊

西伯利哥薩克騎兵師團第四聯隊ノ一中隊

東部西伯利砲兵第一旅團 (砲二十四門)

小計 歩兵十一大隊、工兵一中隊ト二分ノ一、哥薩克騎兵三中隊及砲二十四門

海城支隊

歩兵第三十五師團第二旅團ノ七大隊

砲兵第三十五旅團第二大隊 (砲二十四門)

小計 歩兵七大隊、砲二十四門

營口方面

東部西伯利狙撃兵第三十四聯隊ノ三大隊

同砲兵第九旅團第二中隊 (砲八門)

小計 歩兵三大隊、砲八門

大石橋方面

東部西伯利狙撃兵第三十三聯隊ノ一大隊

又湯池ニ於テ乘馬獵兵一隊

小計 歩兵一大隊及乘馬獵兵一隊

波旗在方面

東部西伯利狙撃兵第三十五聯隊ノ三大隊

同聯隊所屬ノ乘馬獵兵一隊

後貝加爾哥薩克騎砲兵第三中隊 (砲六門)

小計 歩兵三大隊、乘馬獵兵一隊、砲六門

唐家屯方面

此

1687

西伯利哥薩克騎兵師團第五聯隊ノ二中隊

坎子方面

西伯利哥薩克騎兵師團第五聯隊ノ一中隊

蓋平方面

東部西伯利狙擊兵第三十三聯隊ノ二大隊

同第三十六聯隊ノ一中隊

同第三十三聯隊所屬ノ乘馬獵兵一群

東部西伯利砲兵第九旅團ノ第一、第三及第四中隊

小計 歩兵二大隊ト四分ノ一及乘馬獵兵一群並ニ砲二十四門

總司令官ハ歩兵四十八大隊以上ヲ以テ攻撃ニ轉セント思料セシモ其編成ハ僅ニ三十二大隊ニ過キサ
ルヲ以テ侍從將官クロバトキンハ第十軍團ノ來着ヲ待チテ之ヲシタケリベルグ男支隊ニ増援セント欲セ
リ

六月十日瓦房站附近ニ於ケルシモノフ中將騎兵支隊ハルトコフスキー少將前衛ヨリ進出セシ各部隊即
チ東部西伯利狙擊兵第一及第二聯隊、砲兵一中隊及哥薩克騎兵一中隊（總計歩兵六大隊、騎兵一中隊
及砲八門）ヲ以テ増援セラレタリ而シテ該前衛運動ノ目的ハ日本軍ノ注意ヲ喚起シ我兵大舉シテ南方
ニ向ヒ攻撃前進スヘシトノ風説ヲ流布スルト同時ニ敵ヲシテ成ルヘク多數ノ兵力ヲ旅順口方面ヨリ分

割セシメンカ爲メナリキ

六月十一日ステッセル中將ヨリ報告アリ曰ク敵ハ歩兵六師團ヲ關東州ニ上陸セシメ此内、二師團ハ之ヲ旅順口方面ニ配置シ他ノ二師團ハ之ヲ金州地峽ノ南方老虎山附近ニ配置シ殘餘ノ二師團ハ之ヲ該地峽ノ北方西伯利第一軍團ニ對シテ配置セリト

該情報ニ關シ滿洲軍司令官ハ訓令ヲ以テ之ヲシタケリベルグ男ニ通告シ且ツ諭示シテ曰ク老虎山附近ニ豫備隊タル此二師團ヲモ牽制シテ地峽以北ニ誘致スルヲ要スト且ツ之ニ附加スルニ敵ハ其策源ヲ獅子窩ヨリ大連ニ移スヘク思惟セラル、ヲ以テ軍隊ノ地峽ヲ經テ南方ニ移ルノ時ニ乘シ砲兵及輜重部隊ノ行進ヲ阻害スルコトヲ勉メ以テ地峽通過ノ行動ヲ妨碍スヘキヲ以テセリ蓋シ此事タルヤ將軍ノ見ル所ニ據レハ此際若シ我艦隊ニシテ既ニ其修理ヲ終ヘテ大洋ニ出テ能ク敵ノ艦隊ヲ擊破シ得ルカ若クハ少ナクモ能ク敵ノ交通ヲ妨害シ得ヘクンハ此行動ハ殊ニ緊要ナルヘク且ツ此際陸軍ニ於テハ海上ノ成功ヲ利用センカ爲メ非常ノ耐忍ヲ要スヘシトナセリ

六月十三日ニ至ル迄ハシモノフ中將前衛ニ於テ毎ニ小戰ノミ行ハレ而カモ該隊掩護ノ下ニ於テ陸續トシテ軍團ヲ得利寺附近ニ集中セリ是時ニ當リ李家屯占領ノ爲メ六月十一日夜ヨリ翌十二日未明ニ至リ行ハレタル戰鬪ハ我兵ノ勝利ニ歸セリ我前哨線ハ即チ三十里堡、李家屯、鄭家屯、吳家屯、拉子山、官家屯、太平庄、劉家屯、七家屯、千家屯ニ亘ル線ナリキ

六月十三日午前六時頃敵ハ三縦隊ヲ以テシモノフ支隊ノ前哨線ヲ壓迫シツ、夜ニ至ル迄ニ之ヲ瓦房站ニ壓到セリ

敵ノ兵力ト配置ハ左ノ如ク判明セリ

袁家溝方面我右翼ニ向テ攻撃前進セシハ約一師團ニシテ山砲六門及騎兵六中隊ヲ有シ又正面ニ在テハ步兵一旅團我左翼ニ在テハ大沙河谷ニ沿ヒ步兵二旅團ト山砲兵前進セリ而シテ我右翼ニ向テ攻撃シ來レル步兵師團ハ他ノ二縦隊ニ比シテ頗ル前進シ在リ

上陳ノ情況ニ依リ六月十三日夜シタケリベルグ男ハ左ノ命令ヲ下セリ

命令 (一九三號)

西伯利第一軍團各軍隊へ

千九百四年六月十三日得利寺停車場ニ於テ

一 敵ハ步兵約二師團ノ兵力ヲ以テ南方ヨリ瓦房站ニ向テ前進ス

二 敵若シ得利寺停車場ニ向テ攻撃シ來ル場合ニハ西伯利第一軍團ハ鐵道線路ノ兩側ニ沿ヒ祝家店北方ノ陣地ヲ占領セントス

三 軍隊區分

騎兵隊

司令官シモノフ中將

沿海州龍騎兵聯隊ノ五中隊、西伯利哥薩克第二師團ノ六中隊、東部西伯利狙撃兵第十三聯隊所屬ノ乘馬獵兵一隊、後貝加爾哥薩克騎砲兵第二中隊（砲六門）
計 騎兵十一中隊、乘馬獵兵一隊及騎砲六門

前衛

司令官 ルトコフスキー少將

東部西伯利狙撃兵第一師團第一旅團ノ六大隊
西伯利哥薩克第二師團ノ一中隊
東部西伯利砲兵第一旅團（砲八門）
計 歩兵六大隊、騎兵一中隊、砲八門

左翼地區隊（鐵道線路ヨリ東方ニ至ル）

司令官 ゲルングロックス少將

東部西伯利狙撃兵第一師團ノ十二大隊、同砲兵第一旅
（砲三十二門）

一、大房身ニ向テ進出シ同村西方ニ位置シ大房身、田家屯、曲家屯ノ地帯ニ於ケル河谷及道路ヲ監視シツ、陣地ノ右翼ヲ警戒スヘシ

一、敵若シ優勢ノ兵力ヲ以テ攻撃シ來ル場合ニハ曲家屯及瓦房窩舖ニ向テ退却スヘシ
但シ瓦房窩舖ニ達セザル途中ヨリ道ヲ折リテ老燒鍋ニ到リ此地ニ於テ左翼地區隊ノ編組ニ入ルヘシ

一、歩兵二聯隊及砲兵三中隊ヲ第一線トシ歩兵二聯隊及砲兵一中隊ヲ豫

國境守備山砲中隊（砲四門）

西伯利哥薩克（シモノフ中將ニ屬スル）ノ三中隊、西伯

利哥薩克第四聯隊ノ第五中隊

東部西伯利工兵第一大隊ノ半中隊

計 歩兵十二大隊、野砲三十二門、山砲四門、騎兵四中

隊及工兵半中隊

中央地區隊

司令官 ルトコフスキ少將

東部西伯利狙撃兵第三十三聯隊ノ三中隊

東部西伯利砲兵第九旅團ノ二中隊（砲十六門）

砲兵第三十五旅團ノ砲八門

計 歩兵三中隊、砲二十四門

右翼地區隊

司令官 グラウゼ少將

東部西伯利狙撃兵第三十三聯隊ノ一大隊、及一中隊

同第三十六聯隊ノ二大隊

備ト爲シ陣地ヲ占領スヘシ

二

一、鐵道線路ヨリ山嘴ニ至ル迄ノ陣地

ヲ占領スヘシ

一、山嘴ヨリ右翼ノ堡壘ニ至ル迄ノ陣

地ヲ占領スヘシ

東部西伯利工兵第一大隊ノ一中隊半

東部西伯利砲兵第九旅團ノ砲八門

計 歩兵三大隊ト一中隊、砲八門並ニ工兵一中隊半

右翼前進地區隊

司令官 パチンスキー大佐

東部西伯利狙撃兵第三十六聯隊ノ一大隊

乘馬獵兵一隊

總豫備隊

司令官 グラスコ少將

歩兵第三十五師團ノ第二旅團(八大隊)

砲兵第三十五旅團ノ二中隊(砲十六門)

四 左翼警戒ノ爲メ左翼地區長ハ騎兵監視哨ヲ廟兒嶺、孫家屯ノ東方廟溝ニ進メ且ツ歩兵二中隊ヲ

以テ曲家屯附近道路ノ交叉點ヲ占領スヘシ

五 シモノフ中將支隊(騎兵)ハ右翼ヲ監視シ復州附近ニ於ケル監視哨ト連絡ヲ保ツヘシ

六 萬家崙停車場ニ配置サレタル東部西伯利遊動砲廠第二旅團ハ特別命令ニ接スルヤ直ニ前進シ得

ル準備ヲ整ヘアルヘシ

一、大房身北方ノ高地ヲ占領スヘシ

一、李家屯附近ニ位置スヘシ

1693

七 綑帶所ハ地區長ノ指揮ニ因リテ開設スヘシ赤十字「マリヤ、ヒョードロフナ」皇后遊動部隊ハ東部西伯利狙撃兵第一師團ニ屬シ又同第十遊動部隊ハ騎兵支隊ニ屬シ又同「リツヤンコ」遊動部隊ハ東部西伯利狙撃兵第九師團ニ屬シ又フ「レイマン」遊動部隊ハ萬家嶺停車場ニ位置スヘシ

八 第二行李ハ午前三時宿營地ヲ發シ萬家嶺停車場ニ向テ前進スヘシ各師團長及旅團長ハ各行李ニ對シテ掩護隊ヲ附スヘシ

九 諸報告ハ之ヲ老燒鍋ニ送致スヘシ

十 後繼者ハシモノフ中將及ゲルングロツス少將トス

十一 陣地ニ於テ露營シ且ツ炊爨スヘシ

軍團長中將男爵シタケリベルグ參謀長代理參謀大佐グルコ

軍團參謀長ハイワノフ少將ナリシカ當時軍團長ニ隨從シテ得利寺停車場ニ在リタルニ拘ハラス何故カ作戰命令ニ署名セザリキ於是乎各隊ニ於テ區々ノ流言ヲ生シ氏ハ該命令ヲ以テ不適當ナルモノト認め且ツ眼前ニ迫レル戰鬪若シ不成功ニ歸スルトキハ其責ヲ負フヲ欲セサルヲ以テ之ニ署名セサルナルシト傳フルニ至レリ

軍團ノ殘餘部隊ハ命令發布ノ當時未タ來著セザリシヲ以テ之ニ入ルヲ得ザリキ六月十三日夜是等部隊ノ位置左ノ如シ

東部西伯利狙撃兵第三十三聯隊ノ第一大隊ハ大石橋ニ

同第三十四聯隊ハ途中ニ

砲兵第九旅團ノ第二中隊ハ營口ニ

狙撃兵第三十五聯隊ハ波旗在ニ在リ

軍團各部隊ノ陣地ハ曩日軍團附工兵大尉イサコウイノ偵察ヲ施セシ時ニ當リ得利寺南方十二露里ナル高地ヲ以テ恰好ナリト指定シタレトモ六月八日ニ至リシタケリベルグ男ハ之ニ代フルニ瓦房窩備ヨリ龍口ニ亘ル各高地ヲ以テセリ

同月八日軍團長親ラ左翼地區ヲ巡視シ步兵線ノ位置及砲兵ヲ置クヘキ地點ヲ指定セリ而シテ右翼陣地ハ同月十二日午後ニ至リテ始メテ確定セリ蓋シグルコ大佐ハ工兵ト共ニ是時始メテ該區ヲ巡視シタルナリ是ヲ以テ該區ニ於ケル工事ハ纔ニ翌十三日ヨリ著手スルニ至レリ

事情既ニ此ノ如クナリシヲ以テ工事ノ進捗著シカラス爲ニ右翼地區ヲシテ防備ヲ充實セシメンニハ已ニ時日甚タ僅少ナリキ

各陣地防禦工事ノ進捗甚タ著シカラサリシ原因ハ諸材料(大鋸及爆裂器械)ノ足ラサリシト軍團司令部所置ノ不備ナリシトニ在リト謂ハサルヲ得ス

一例ヲ舉ケテ之ヲ云ヘハ地圖ハ纔ニ六月十日ヲ以テ之ヲ工兵ニ交付セシコト其一ナリ軍團附工兵ヨリ同月八日ヲ以テ東部西伯利野戰工兵廠第一支部ヲ蓋平ヨリ鐵道ニ依リテ招致スヘキ必要ヲ具申セシニモ拘ハラズ該支部ハ行軍ヲ以テ同月十一日夜ニ至リテ始メテ到着セシコト其二ナリ軍團司令部ニ於テ

1695

各軍隊ヨリ工事者ヲ招致スルニ當リ時トシテハ工事指導者ノ嘗テ知ラサル集合地ヲ指定セシコトアリタルカ如キ怠慢ヲ敢テセシコト其二三ナリ

是ニ由リテ之ヲ觀レハ軍團司令部ニ於テハ只管豫定ノ如ク敵ニ向テ前進ヲ持續セシト思惟スルヲ以テ敢テ多大ノ望ヲ該陣地ノ戰鬪ニ屬セサリシヲ知ルニ足ルヘシトハ兎モアレ一旦陣地ヲ撰定シテ之ニ防禦工事ヲ施シタル上ハ之ニ十分ナル防禦設備ヲ施スニ努力セサルヘカラサルノミナラス前方ニ存在シ我ヲ瞰制スル高地ノ射界外ノ地點ニ陣地ヲ撰定セサルヘカラサリシナリ

散兵壕ハ十分ナル斷面ニ達セス往々立射ニ適スルモノ無キニアラサリシモ多クハ膝射ニ適スルニ過キサリキ

塹壕ハ多ク工兵將校ノ指導下ニ於テ歩兵部隊ノ築造セルモノタリ工兵將校ハ強斷面ナル遮蔽物ノ利益ヲ發揮スルニ努メタルヤ想像スルニ難カラス然レトモ歩兵將校ニ在テハ敵ノ來リ侵スヘカラサルカ如キ掩壕ヲ設クルニ大ナル希望ヲ有セス僅ニ半身ノ掩壕ヲ以テ満足シタリ蓋シ目下ノ狀況ハ斯カル小遮蔽物ヲ以テスルモ尙ホ能ク防者ノ位置ヲシテ攻者ノ利益ト平等ナラシムルヲ得ヘシト思惟シタルモノナルヘシ此ノ如ク工事ニ忠實ナラサリシ原因ハ各部隊ヨリ交互ニ差遣スヘキ工事者ヲ指揮誘導スルノ方法ヲ誤リタルモノト斷セサルヲ得ス換言スレハ工事者各々交戦ノ時ニ際シテ躬ヲ使用スヘキ堡壘ノ築造ニ從事セス反テ他ノ地區ニ於ケル工事ニ鞅掌スルカ如キ指導者其人ヲ用フルノ道ヲ謬レルニ基因スルモノト謂ハサルヲ得ス工事者ヲシテ各自ノ地區ニ於テ早晚利用スヘキ塹壕工事ニ當ラシムル時ハ

實ニ彼等ヲシテ工事ニ誠實ナラシムルノ利アルノミナラス詳細精密ニ其陣地ニ通曉セシムルト同時ニ敵ノ我陣地ニ對スル近接方向ヲモ亦能ク熟知セシムルヲ得ヘキナリ

大鍬ノ不足爆裂器械ノ缺乏ノ如キモ亦工事ノ進捗ニ大影響無キヲ得ス何トナレハ軍隊ニ於テ良好ナル工事ノ利益ヲ十分ニ理解スルニ至ラサル間ハ塹壕工事ヲ好マサル彼等ヲ役シテ小鍬ヲ以テ事ニ從ハシムルハ甚タ難キ所ナリ他ニ適當ノ器械ヲ以テセハ工事ノ進捗ヲ期スルハ極メテ容易ノ事タルヲ知レルニモ關ハラス或ル部隊ニ於テハ固ヨリ輻重トシテ大鍬ヲ有セサルニアラサリシモ荷造上ノ便利ノ爲メ之ヲ各貨車ニ分載セシヲ以テ各陣地ニ分配スル事能ハサリキ何トナレハ殆ト各貨車ヲ解舒セサルヲ得サルヘケレハナリ

肩墻ハ比較的誠實ニ築造セラレ且ツ適當ノ射界ヲ得ル如ク縱深ヲ有シタレトモ猶ホ現時ノ技術的要求ニ適セサルモノタリキ何トナレハ該肩墻ハ山頂ニ在リテ特ニ目視シ得ヘキ目標ノ射撃ニ適スルモノタルニ過キサルハナリイサコフ大尉ノ言ニ據レハ頂界線ノ背後ニ於テ隱蔽目標射撃用ノ肩墻アレトモ此等ノ肩墻ハ戰鬥員中之ニ就クヲ否認セル者アリキ蓋シ測角器ノ應用ニ通曉セシ中隊長甚タ少ナク其多クハ這般ノ實戰ニ臨ミ新式速射砲ヲ以テ始メテ隱蔽目標ノ射撃ニ從事スル者ナリキ

又陣地ニ火砲ヲ配置センカ爲メ斜面ニ沿ヒテ通路ヲ開通セリ
掩蓋及人工的ノ障害物ハ之ヲ設置セサリキ蓋シ軍團司令部ニ於テハ鐵板等ノ材料ヲ有セシニ拘ハラヌ復州河ニ於ケル橋梁改造ノ爲メニ要ストシテ之ヲ交付スルニ吝ナリキ

加之前方有利ノ地形ハ總テ之ヲ敵手ニ委棄シ其行動ヲシテ防者ノ展望ヲ避ケシメタルノミナラス瞰制高地ヲ敵ノ利用ニ委シタルヲ以テ敵ハ該高地ヲ利用シテ恣ニ我陣地ヲ觀測シ砲撃スルニ至レリ是ニ由リ之ヲ觀レハ陣地ノ撰定頗ル其當ヲ得ス從テ自ラ防者ノ利益ヲ殺キテ悉ク之ヲ敵手ニ委ネタルモノト斷言セサルヲ得ス

陣地ノ防禦工事ハ六月十四日午前十一時過ニ至リテ僅ニ落成シ而カモ工事日數ハ一晝夜ニ付七時半ノ割合ニ該當シ歩兵一中隊ヨリ差遣セシ延人員ハ七十六名ニ該當セリ斯クテ收メ得タル成績ハ即チ散兵壕三十六個、砲臺九座及通路六百「サージエン」ナリキ

六月十四日

是日午前六時頃敵ハ瓦房站停車場ニ向テ攻撃シ來レリシモノフ中將ハ其陣地ヨリ退却シ歩兵一大隊、砲二門ヲ以テ祝家店北方ノ新陣地ヲ占領スヘキヲ命シ且ツ前衛ノ各部隊ニ命シテ曲家屯ニ退却セシメタリ是時恰モ軍團命令第一九三號ニ接セシヲ以テ同中將ハ該命令ニ基キルトコフスキ少將ノ指揮ニ屬セシムル爲メ徒歩部隊ヲ陣地ノ左翼ニ差遣シ躬ラ騎兵ヲ率テ大房身西方ニ赴キ續テ又龍口ニ移リテ停止セリ

敵ハ十時頃祝家店ヲ占領シ爾來一ノ抵抗ニ遭遇セスシテ我陣地ノ南方三露里ニ在リテ我陣地ノ中央ヲ瞰制スヘキ高地ヲ占領セリ

何等ノ抵抗ヲモ試ミス敵ニ上述ノ高地ヲ讓リタルノ一事ハ有利ノ行動ト認ムルコト能ハス何トナレハ

一時ニ敵手ニ委スルニ展望地點ト射界(瞰制高地ヨリ)トノ二者ヲ以テセシモノナレハナリ
我陣地ヲ不利益ノ状態ニ陥レタルモ亦此ニ基因スヘシ蓋シ敵ハ瞰制高地ニ因リテ掩護サル、ヲ以テ全
ク我兵ノ展望ヲ避ケツ、容易ニ行動シ得タルヘケレハナリ

命令第一九三號ニ從ヒシモノフ中將ヨリゲルングロス少將ノ指揮下ニ差遣セシ騎兵三中隊ハ遂ニ指
定地ニ達セサリキ何トナレハ軍團司令部員中ノ何者カニ他ノ目的ノ爲メ使用セラレタルハナリ而シテ
之カ爲メ左翼地區ニ騎兵ヲ缺キ遂ニ戦局ニ大影響ヲ及ホスニ至レリ

是日騎兵支隊ハ大房身西方ノ陣地ヲ占領セシ後テ敵ト砲戰(之ニ任セシハ後員加爾哥薩克騎砲兵第二
中隊ナリ)ヲ交ヘ頻リニ敵ヲ苦シメタレトモ敵ハ砲兵ヲ榴霰彈射程外ニ移シ我陣地ノ側面ニ向テ下瀬
彈ヲ發射セリ

夜ニ至リシモノフ中將支隊ハ龍口北方ニ於テ露營ニ就ケリ

東部西伯利狙撃兵第一師團ハ軍團長ノ作戰命令ニ基キ正午各部隊ハ其陣地ニ就ケリ

敵ハ午後一時三十分ヲ以テ戰闘ヲ開始シ我陣地ノ左翼地區ヲ砲撃シ且ツ左翼ニ對シ迂回ヲ實施セリ是
ニ於テ包圍ニ抗センカ爲メ一時ニ豫備隊中ヨリ第一線ニ向テ東部西伯利狙撃兵第一聯隊ヲ進出セシメ
タルノミナラス斷然敵ノ攻撃ヲ撃破センカ爲メ豫備隊中ヨリ殘餘部隊即チ東部西伯利狙撃兵第二聯隊
ヲモ進出セシメタリシニ敵ハ該部隊ノ進出スルト同時ニ瓦房窩舖南方高地ニ退却セリ

最右翼即チ東部西伯利狙撃兵第三及同第四聯隊地區ニ於テハ專ラ砲戰ノミ行ハレタリシカ日没ト同時

ニ沈黙セリ

午後五時ニ至リ敵ハ中央地區ニ對シ其前方ニ連ナル高地ノ頂界ニ出現シタレトモ東部西伯利砲兵第九旅團ノ第一及第三中隊ハ交互數回ノ砲撃ヲ以テ敵ヲ擊退セリ此方面ニ當リ間モ無ク砂塵起レリ是レ蓋シ敵ノ砲兵陣地ニ就カンカ爲メ運動シタルモノナレトモ砲火ハ終ニ敵ノ企圖ヲ中止セシメタリ全陣地ニ於ケル是日ノ戰鬪ハ之ヲ以テ結了セリ

豫備隊ハ午後三時過即チ敵ノ左翼迂回ノ行動ヲ發覺セシ時ニ當リ崔家屯ニ向テ進出セリ

敵ノ増援ハ遂ニ功ヲ奏セス敵ハ各地ニ於テ擊退セラレ我軍ノ損害ハ極メテ僅少ナリキ此一事タル軍隊ヲシテ單ニ受動的行動ニ安セス奮テ前進スルノ志氣ニ好影響ヲ與ヘタルヲ以テ彼等ハ奮ニ勝利ヲ疑ハサルノミナラス寧ロ勝利ノ極メテ容易ナルヲ思惟スルニ至レリ

敵ノ兵力ハ僅ニ歩兵二師團ニ過キササルヲ發見セリ即チ瓦房窩舖ニ對スルモノ歩兵二旅團中央ニ對スルモノ一旅團ニシテ袁家溝方面ヨリ進メルモノ一旅團ナリ故ニ吾人ハ敵ノ兵數ヲ以テ歩兵二十四大隊ト計上シテ既ニ我兵力ノ優勢ナルヲ覺レリ蓋シ我兵ノ現ニ陣地ニ在ルモノ歩兵二十七大隊ニシテ途中ニ在ルモノ五大隊（東部西伯利狙撃兵第三十四聯隊及同第三十五聯隊）即チ總計三十二大隊ヲ有シタルハナリ

之ニ基キシタケリベルグ男ハ敵ノ右翼ニ對シ攻撃ニ轉セント決心セリ是レ亦軍司令官ノ最モ冀望セル所ニシテ特ニ好時機ヲ以テ夜襲ヲ行フヘキヲ要求セシカ如シ

攻撃ノ計畫左ノ如シ

東部西伯利狙撃兵第一師團ノ三聯隊及グラスコ少將ノ旅團（第三十五師團第二旅團）並ニ東部西伯利狙撃兵第三十四聯隊ハ共ニグルングロツス少將ノ指揮下ニ於テ敵ヲ攻撃ス

自餘ノ部隊即チ東部西伯利狙撃兵第四聯隊ハ東部西伯利砲兵第一旅團ノ第三、第四中隊ト共ニ（夫レヨリ尙ホ右方ニ在ルモノヲモ含ム）ムロヅフスキー少將ノ指揮下ニ屬シテ攻撃部隊ヲ支援スヘキモノタリキ

攻撃時刻ハ軍團長之ヲ指定セス特ニグルングロツス少將ニ委スルニグラスコ少將ノ同意ヲ得テ施行スヘキ旨ヲ以テセリ抑モ此計畫タルヤ各部隊行動ノ協同一致上グラスコ少將ヲシテ其縱隊ヲ率テ好時機ニ進出スヘキ獨斷ヲ有セシムルモノニアラサルヲ以テ結局戰局ノ大勢ニ於テ不利ニ陥ルニ至レリ當時古參トシテ總攻撃部隊指揮ノ責任ヲ負フヘキグルングロツス少將ハ斯カル計畫ヲ以テシテハ逆襲ノ大任ヲ遂行スル事頗ル難キヲ感セリ

午後八時頃シモノフ中將ヨリ騎兵ハ既ニ金斗房ヲ出發セリトノ報告軍團司令部ニ到達セリシタケリベ
ルグ男ハ此報ニ接スルヤ直ニ之ニ命スルニ速ニ前進シ以テ八張漆子、曲家屯方面ニ於ケル敵ノ背後及側面ニ向テ強行偵察ヲ施行スヘキヲ以テセリ

ムロヅフスキー少將ノ陣地ニ於テハ何等ノ衝突ヲモ起ラサルヘシトハ夙ニ軍團長ノ確信セシ所ニシテ
現ニ六月十四日ノ夜到着セシ東部西伯利狙撃兵第九師團長コンドラトウイチ少將ニ告クルニ此事ヲ以

テセリ加之軍團長ハ各縱隊好時機ニ出發セシモノト倣シ逆襲ノ成功ニ疑ヲ容レサルヲ以テ其司令部ニ於テハ各部隊ノ出發ニ對シテ檢スル所ナカリキ

概シテ之ヲ云ヘハシタケリベルグ男ハ未タ能ク敵ノ配備ニ通セサルニ拘ハラス何故カ我左翼ヨリノ攻撃（而カモ不成功ニ歸シタル此攻撃）ハ概シテ敵ノ企圖心ヲ挫折スヘシト豫想シ且ツコンドラトウイチ少將ノ部隊ニ關シテハ毫モ留意セザリキ

東部西伯利砲兵第九旅團長ムロゾフスキ少將ハ六月十四日營口ヨリ到着シ次テ得利寺附近ノ防禦陣地ノ指揮ヲ爲スヘキ命ヲ受ケ同日其任ニ就キ左ノ命令ヲ下タセリ

得利寺附近陣地防禦ニ關スル命令

六月十四日午前十一時山嘴ニ於テ

- 一、敵ハ歩兵約二師團ノ兵力ヲ以テ南方及東南方ヨリ攻撃シ來レリ
- 二、余ハ設堡陣地防禦指揮官ニ任セララル
- 三、陣地ハ十五日午前三時半迄ニ左ノ如ク占領スヘシ

左翼地區

司令官歩兵第一師團第四聯隊長

歩兵第一師團第四聯隊（三大隊）

砲兵第一旅團ノ第三及第四中隊（砲十六門）

二二

- 一 六月十四日西伯利第一軍團命令第一九三號ニ因リ指定サレタル諸陣地ヲ占領スヘシ

計 歩兵三大隊及砲十六門

右翼地區

司令官大佐 リソフスキー

歩兵第三十三聯隊ノ一大隊ト一中隊

砲兵第九旅團第四中隊(砲八門)

計 歩兵一大隊ト一中隊、砲八門

中央地區

司令官 中佐バニユチン

歩兵第三十三聯隊ノ三中隊

砲兵第九旅團ノ第一及第三中隊(砲十六門)

計 歩兵三中隊及砲十六門

右翼前進地區

司令官 大佐バチンスキー

歩兵第三十六聯隊ノ一大隊

總豫備隊

司令官 少將クラウゼ

歩兵第三十六聯隊ノ二大隊

一一 李家店附近ニ配置スヘシ

二四

四、パチンスキー大佐ハ右翼監視ノ爲メ歩兵第三十六聯隊所屬ノ獵兵群ヲ進メ我騎兵ト連絡ヲ保チ

且ツ龍口ニ向テ斥候ヲ出スヘシ

五、歩兵第一師團第四聯隊長ハ左翼監視ノ爲メ獵兵群ヲ進メ以テ同師團自餘ノ各聯隊及歩兵第三十

五師團ノ各聯隊ト連絡ヲ保ツヘシ

六、綑帶所ハ各地區司令官ノ指揮ヲ以テ開設スヘシ

七、鐵道敷地ヨリ大房身ニ至ル迄ノ監視線ハ歩兵第三十三聯隊長及第三十六聯隊長ノ指揮ヲ以テ之

ヲ進出スヘシ又歩兵第四聯隊長ハ自己ノ配置ニ準シテ監視線ヲ進ムヘシ監視線ノ指揮官ハ歩兵第

三十三聯隊中佐カロブチエフスキートス

八、午前四時迄ニ歩兵第四、第三十三及第三十六聯隊ヨリ各一將校一名ノ傳令使ヲ司令部ニ差遣ス

ヘシ

九、「ロヂヤンコ」遊動部隊ハ現在地ニ殘留スヘシ

十、各輜重ハ最モ必要ナルモノヲ除クノ外悉ク萬家嶺停車場ニ向ケ差遣スヘシ

十一、諸報告ハ總豫備隊ノ位置ニ送致スヘシ

十二、後繼者ハグラウゼ少將及パチンスキー大佐トス

防禦陣地指揮官 少將ムロンフスキー參謀長代理二等大尉スイチン

其他尙ホムロンフスキール少將ハ左ノ處置ヲ爲セリ

一、我左翼攻撃ニ關スル軍團長ノ命令ヲ熟知セシメンカ爲メ各聯隊長ヲ招集セリ

二、敵ニ接近セシヲ以テ當直部隊ヲ各陣地ニ存置シ燈火ハ僅ニ一定ノ地ニ限り遮蔽シテ使用スルコ

トヲ許可セリ

三、歩兵第三十六聯隊所屬ノ獵兵隊ニ命スルニ敵ノ配置ヲ搜索スヘキ旨ヲ以テセリ

四、ゲルングロース少將及シモノフ中將ト連絡ヲ保タシメタリ然レトモシモノフ中將ニ對シテ差遣

セシ獵兵隊ハ同中將部隊ヲ探知シ得サリシカ爲メ遂ニ其目的ヲ達セザリキ

五、彈藥補充ノ爲メ萬家嶺ヨリ遊動砲廠ノ差遣ヲ請求セシモ其來著遲滯ノ爲メ砲兵第九旅團ノ各中

隊ヨリ砲兵第一旅團ノ二中隊ニ對シ砲一門毎ニ百五十發宛ノ彈藥ヲ分與スヘキヲ命セリ

午前一時半頃ニ於ケル監視線前方ノ小衝突ヲ除キテハ是夜ハ頗ル平穩無事ナリキ右ノ銃聲ハ敵ヨリ我

騎兵ニ對シテ射擊セシモノナリシナラン

シタケリベルグ男ハ此射擊ヲ聞キ直ニ各歩兵大隊長ニ命シ其部隊ヲ監視シ以テ靜謐ヲ保タシメタリ

東部西伯利狙擊兵第三十五聯隊ハ是日得利寺停車場ニ著シタル同第三十四聯隊ニ續キ是夜到著セシモ

ノニシテ其第一中隊ハ夜十二時ニ、其第二中隊ハ翌十五日午前八時ヲ以テ到着セリ

攻撃ニ移ルヘキ豫定縱隊即チ歩兵十八大隊、野砲三十二門、山砲四門及哥薩克騎兵五中隊ハ當時既ニ出

發準備ヲ整ヘタレントモグラスコ少將ノ指揮下ニ在ル歩兵九大隊、砲三十二門及哥薩克騎兵一中隊ハ何

故カ遅滞セリ

ゲルングロツス少將ハ遅滞ノ原因ヲ知悉セサルヲ以テ頻リニグラスコ少將ノ出發ヲ待テリ是ヨリ先キ午後八時十五分ゲルングロツス少將ヨリ一片ノ通牒ヲグラスコ少將ニ送レリ其文中ニ曰ク

「余ハ瓦房窩舖、干家屯間ノ逕路ニ在リ軍團長若シ拂曉ヲ以テ攻撃ヲ開始セント欲セハ希望ノ如ク之ヲ行フヲ得ヘシ」

此通牒ハ其文句ノ示スカ如ク甚タ假定的文意ニシテ毫モ斷然タル意義ヲ含マサルナリ元來ゲルングロツス少將ニハ與ヘラレタル指揮權アリ故ニ何ヲ以テ斷然タル命令ヲ下サ、リシヤヲ怪マサルヲ得ス殊ニシタケリベルグ男ヨリ指定セラレタル所アルニ拘ハラヌ今ニ至テグラスコ少將トノ關係ニ疑惑ヲ抱クカ如キ最モ謂レナキ所トス

六月十五日

第一師團ノ各聯隊ハ既ニ攻撃準備ヲ整ヘ拂曉ニ至ル迄グラスコ少將縱隊ノ來著ヲ待テタレトモ遂ニ徒爾ニ屬セリゲルングロツス少將ハ再三通牒ヲ送リテグラスコ少將ノ出發ヲ促シタリ何トナレハ同少將ノ有セシ砲兵ヲ用ヒサレハ戦闘ヲ開始スルコト能ハサレハナリ午前八時頃ニ至リグラスコ少將ヨリ報告アリ曰ク「支隊ハ午前六時四十分ヲ以テ瓦房窩舖ニ向テ上崔家屯ヲ出發(約四露里)セリ」ト而シテ東部西伯利狙擊兵第一師團ノ各部隊ハグラスコ少將部隊ノ來著スルニ至ラサル中、既ニ前進ヲ起シ正午十二時(原文時間疑ハシ)既ニ敵ノ一塹壕ヲ奪取スルヲ得タリ當時敵ノ正面及背後ヲ衝カンカ爲メ

増援ヲ要スルコト最モ急ナリシナルヘシ然ルニグラスコ少將ハ戰鬪結了ニ至ル迄遂ニ攻撃部隊ト連絡ヲ保タサリキ

敵ハ當時我右翼ヲ攻撃センカ爲メ殆ト全力ヲ擧ケテ西方ニ集注セシメタルヲ以テ其右翼ハ甚タ薄弱ナリシモノ、如ク我攻撃ニシテ若シ成立センカ其効ヲ奏セシコト固ヨリ疑ヲ容レサル所ナリキ夫ノゲルングロカラス少將部隊ノ行動ノ如キハ(グラスコ少將部隊ヲモ含ム)固ヨリ以テ攻撃ト名ツクヘ何トナレハ悉ク假定ニシテ且ツ集合ニ止マリ毫モ其レ以上ニ出テサリシヲ以テナリ

斯クテ我軍團中ノ大部分ハ遂ニ戰鬪ニ直接ノ關係ヲ有セサリシカ此ニ僥倖トスル所ハ東部西伯利狙撃兵第三十四聯隊ノ二大隊モ亦命令ニ從ヒグラスコ少將縱隊ニ入ラントシタルヲシタケリベルグ男之ヲ抑留シ以テ戰鬪上最モ危急ノ際即チ敵ノ我背後ヲ威嚇セシ時ニ當リ此二大隊ヲシテ之ニ對シ行動セシムルヲ得タルノ一事之ナリ

午後ゲルングッロス少將ノ退却ヲ始ムルヤ敵ハ之ニ乘シテ逆襲ニ轉セリ爲ニ我士卒及火炮ノ損害極メテ大ナリキ敵ハ該翼ニ於テ騎山砲兵中隊ヲ打破シテ其砲ヲ破壊シ其砲手ヲ殺傷シタリ

計畫有望ナル攻撃モ其成績タル實ニ此ノ如クニシテ管ニ敵ノ兵力ヲ牽制スル能ハサリシノミナラス徒ニ大部隊ヲ左翼ニ集合シ以テ無爲ニ終ラシムルニ至レリ

敢テ間フ我右翼ニ増援センカ爲メ好機會ヲ以テグラスコ少將ノ許ヨリ歩兵若干大隊ヲ招致シ得ヘカラスリシ乎若シ得ヘカリセハ軍團司令部ハ何故ニ敵ノ右翼迂回ヲ發覺セシ刹那ニ於テ之ヲ實行セサリシ

カ此疑問ヲ解決スルモ亦趣味アルニアラスヤ

二八

我攻撃ノ狀況ヲ一層詳密ナラシメン爲メ尙ホ茲ニ記スヘキ一事アリ他無シ強行偵察ノ爲メシモノフ中將ノ前進シ能ハサリシ事はレナリ蓋シ軍團司令部ヨリ指示セラレシ該道路ハ敵ノ歩、砲兵之ヲ占領シ在リテ到底騎兵ノ通過ヲ許サ、リシヲ以テ竟ニ目的ヲ達シ得サリシナリ蓋シ將軍ハ六月十四日ノ夜病氣ノ故ヲ以テ指揮ノ任ヲサムソノフ少將ニ讓ルニ至リシハ遺憾ナリキ

此等ノ事情ノ爲メ攻撃ノ計畫ハ全然不成功ニ歸シタルト同時ニ戰鬪ノ大勢ハムロゾフスキー少將ノ防禦陣地ニ移リ續テ又東部西伯利狙撃兵第九師團長コンドラドウイチ少將ヲシテ敵ノ攻撃ノ全部ヲ雙肩ニ擔ハサルヲ得サルニ至ラシメタリ

ムロゾフスキー少將ハ日出ト同時ニ陣地ニ赴キ山嘴附近ノ山頂ニ到リ且ツ東部西伯利狙撃兵第四聯隊並ニ東部西伯利砲兵第一旅團ノ二中隊ノ位置セシ左翼地區ニ向テ部下ノ參謀大尉スイチンヲ差遣シ又バチンスキー大佐ノ第一線ヲ以テ防禦上最モ貴重ノ地點ト思惟シ且ツ該地點ヲ未タ占領セラレサルヲ知リタルヲ以テバチンスキー大佐ニ命スルニ速ニ該據點ヲ占領スヘキ旨ヲ以テセリ

是時ニ當リ防禦陣地ノ左翼地區ニ於テ砲撃起レリ是レ實ニ敵ノ砲撃ニ應シテ發射セシモノニシテ時方ニ午前四時三十五分ナリキ是ヲ此地ニ於ケル戰鬪開始ノ初期トス

午前六時コンドラトウイチ少將ハ山嘴附近ノ山頂ニ來リ幕僚ト共ニ觀測點ニ立チシムロゾフスキー少將ニ代リテ指揮ヲ執レリ然レトモ同將軍ハ未タ陣地ニ通曉セス且ツ戰鬪ノ情況ヲ知悉セサルヲ以テ十

一時ニ至ル迄ムロゾフスキー少將ヲ此地ニ留メテ其指示ヲ受ケタリ

中央及右翼地區ノ我砲兵各中隊ハ東部西伯利砲兵第一旅團ノ砲戰ニ參與スルコト能ハサリキ何トナレハ該方面ニ對シ適當ノ射界ヲ有セザレハナリ概シテ彼等ハ皆稀薄ナル樹木ニ據リテ蔭蔽サレタル凹地ノ壕内ニ配置セラレ其左方ハ鐵道線路ニシテ其右方ハ圓錐形山ニ圍マレ而カモ其前方三露里ノ地ニハ高キ圓錐形山アリ故ニ各中隊ノ射界ハ只僅ニ千家屯ニ至ル迄ノ鐵道線路、前方ニ連ナル圓錐形山、東部西伯利狙擊兵第三十六聯隊ノ一大隊ノ陣地ト此等ノ圓錐形山ノ間ニ於ケル谿谷其他該谿谷ノ盡クル所ニアル諸圓錐形山(四露里餘ノ距離)ヲ射擊シ得ルノミ

左方ノ射界ハ固ヨリ之アラサリシカ未タ幾クナラスシテ中央及右翼地區ノ各中隊ノ爲メ目標出現セシヲ以テ此等ノ中隊ハムロゾフスキー少將ノ指揮ニ因リテ射擊ヲ開始セシモ敵ノ砲兵ニ對シテ射擊スルコト甚タ難事タリキ何トナレハ彼等ハ深ク山頂ノ背後ニ隱匿セラレ發射ノ閃光タニ能ク觀望シ得サリシヲ以テナリ左レト我砲兵中隊ハ試射ヲ施セシ後チ數回ノ射擊ヲ重ネ遂ニ敵ヲシテ沈黙セシムルニ至レリ是レ主トシテ指揮ノ宜シキヲ得タルト我彈著ヲ能ク觀望シ得ル好觀測地ヲ撰定シ得タルトニ因ル然レトモ速射砲ノ威力及彈道測定ノ特長モ亦與テ力ナキニアラス是レ我諸中隊カ蔭蔽目標ニ對シテ發射スルノ不利ヲモ顧ミス頗ル優勢ノ敵ト戰鬪シ得タル所以ナリ

七時頃砲戰最モ熾盛ナリシカ當時敵ハ砲兵中隊ヲ數集團ト爲シ一定ノ目標ニ對シ各集團ヲシテ其砲火ヲ集中セシメタリ即チ東部西伯利砲兵第一旅團ノ二中隊ニ對スルモノ同第九旅團ノ第三及第一中隊ニ

對スルモノ及同旅團ノ第四中隊ニ對スルモノ是レナリ加之敵ハ其砲火ヲ更ニ後方ニ轉シテ盛ニ之ヲ射撃シタリ

七時過ニ至リ一ノ疑惑コソ起レリ他無シ敵ノ據リタル高地ニ赤十字旗樹テラレタルコト是レナリ是ニ於テ我砲兵ハ暫時砲撃ヲ中止セシニ敵ハ未タ幾ナラスシテ此地ヨリ盛ニ猛烈ナル砲火ヲ發射セリ是ニ由リテ之ヲ觀レハ赤十字旗ト見シハ發射ノ信號カ否ラサレハ砲兵布列ノ信號ナリシナラム其後或者ハ云ヘリ該旗ハ日本國旗(旭日旗)ナリシナラムト然レトモ實見者ハ之ニ反シテ眞ノ赤十字旗ナリシト云ヘリ此說ノ信憑スルニ足ル所以ハ實見者中ニ日本國旗ヲ熟知セシ者アリタレハナリ

各中隊ニ於ケル損害ハ敵火ノ甚タ猛烈ナリシト我中隊ノ露出セシトニ拘ハラス甚タ僅少ナリキ損害ノ最モ多大ナリシハ砲兵第一旅團ノ第三及第四中隊ニシテ敵ノ榴霰彈榴彈ヲ浴セラレタリ然レトモ掩壕ハ善ク隊員ヲ掩護シ之カ爲メ其損害ノ幾分ヲ輕少ナラシムルヲ得タリ

我砲兵ハ敵ノ射撃ニ依リテ發揚セシ砂塵ノ方向ニ從ヒ頻リニ其地帶ヲ砲撃シ以テ多數ノ敵砲火ヲ殆ト悉ク自己ノ方面ニ誘致シ以テ步兵兵ニ對スル自己ノ任務ヲ全ウセリ

午前七時十分コンドラトウイチ少將ハ東部西伯利狙撃兵第二十四聯隊ヨリ來レル副官二等大尉クリフツオフヨリ敵ノ軍隊ハ龍口方面ニ行進セントスルモノ、如シトノ報告ニ接セリ因テ同將軍ハ電話ヲ以テ此旨ヲ軍團長ニ報告セリ

加之同將軍ハ七時二十五分參謀大尉ウエシヨールイヲバチンスキー大佐ノ許ニ差遣シ敵ノ行進方面ニ

對シ正面ヲ變更シ成ルヘク之ヲ固守シテ敵ノ兵力ト其行進方向トヲ探知スヘキヲ命セリ

パチンスキー大佐ハ既ニ陣地占領ヲ企圖シ將ニ高地上ニ之ヲ占領セントスル際敵ノ歩兵ヲ認メタリ是時高地ノ背後ニ敵山砲ノ射撃ヲ受ケタルヲ以テ陣地ノ占領甚タ難事タリキ蓋シ若シ好機會ニ前方ヲ瞰制スル高地ニ陣地ヲ占領セシナランニハ最モ可ナリシナラン然ルニ何故カ之ヲ行ハス敵ノ歩兵金斗房東方ノ圓錐形山間ニ現出シ且ツ其先頭既ニ大房身附近ト金斗房間ニ於ケル山峯間ニ在リテ龍口方面ニ向テ行進セントスル時ニ當リパチンスキー大佐ハ西方即チ龍口ヲ正面トシテ陣地ヲ占領セリ

歩兵四中队ハ悉ク之ヲ各圓錐形山ニ配置シ且ツ敵ノ砲火ノ下ニ於テ塹壕工事ニ著手セリ而シテ敵ハ山砲八門ヲ陣地ニ配置セシ後チ歩兵三聯隊以上ノ兵力ヲ以テ既ニ龍口北方ノ迂回ヲ開始セリ

敵ハ此地ヨリ直ニ東方ニ折レテ攻撃ヲ行ヒ且ツ其一部隊(歩兵約一聯隊)ハ遠ク北方吳家屯ニ向テ行進セリ

我騎兵隊ノ各部隊ハ最初ニハパチンスキー大佐ノ歩兵大隊ノ右翼ヲ掩護シタレトモ敵ノ射撃ヲ開始スルニ及ヒ歩兵第五中队ノ側面ヲ暴露シテ直ニ退却セリ是時ニ當リパチンスキー大佐ハ歩兵第五及第七中队ニ命シテ右方即チ北方ニ進出セシメ以テ敵ノ側面ヲ攻撃センコトヲ企テタリ是ニ於テ歩兵一大隊ハ分レテ二中队宛ノ二集團ト爲レリ敵ノ砲火ハ我歩兵中队ヲ三方面即チ正面ニ在テハ大房身ヨリ、右翼ニ在テハ龍口方面ヨリ、左翼ニ在テハ大房身東南ノ高地ヨリ集注セリ

パチンスキー大佐ハコンドラトウイチ少將ヨリ通報ニ按セリ曰ク應援トシテ東部西伯利狙撃兵第三十

六聯隊ノ二中隊ヲ敵ノ迂回兵ノ側面即チ大佐ノ北方ニ進出セシメタリト續テ又軍團司令部ヨリ右翼ニ向テ東部西伯利狙撃兵第三十四及第三十五聯隊差遣ノ通知アリタレトモ此等ノ増援隊ハ高キ圓錐形山ノ背後ニ在リテ現ハレサリシカハ歩兵一大隊ハ終始孤立シテ行動ヲ持續セリ

該歩兵大隊行動ノ概要ハ左ノ如シ即チ二集團(一)第五及第七中隊(二)第六及第八中隊)ハ最初ハ僅ニ四百乃至五百歩ノ間隔ヲ有シタルニ過キサリシカ遂ニ敵ヨリ包圍セラレテ第五及第七中隊ハ右翼ヨリ又第六及第八中隊ハ左翼ヨリ重圍ニ陥ルニ及ヒ各中隊モ亦致々トシテ敵ノ側面ヲ攻撃セントシタル爲メ各隊又相分離スルニ至レリ

各中隊ハ圓錐形山ニ向テ攀登シ來レル敵ニ對シテ猛火ヲ注キツ、頑強ニ敵ノ攻撃ヲ拒支セリ然レトモ固ヨリ對等ノ戰鬪ニアラサルヲ以テ我各中隊ハ東部西伯利狙撃兵第三十三聯隊ノ陣地ニ向テ漸次ニ退却セサルヲ得サルニ至レリ但シ我各中隊ハ二箇ノ峽谷ニヨリテ右ノ陣地ヨリ隔タルモノタリ然ルニ第五中隊ハ未タ幾クナラスシテ自カラ分レテ二隊ト爲リタルヲ以テ該大隊ハ遂ニ三個ノ集團ト爲リ東部西伯利狙撃兵第三十三聯隊ノ左翼ニ退却セリ

尙ホ一層正確ニ之ヲ云ヘハ此等ノ部隊ハ既ニ大隊ニアラスシテ僅ニ其殘部タルニ過キスト謂フヘシ何トナレハ是時各中隊ハ辛ウシテ四十伍ヨリ成リタレハナリ

此等ノ中隊ハ能フ限リ之ヲ第三十三聯隊ニ合シ續テ又バチンスキー大佐ハ第二大隊ノ指揮ヲ抛擲シ一個人トシテ砲兵ニ屬セリ

混亂セシ各中隊ハ最早ヤ戰團力ヲ有セサルニ至レリ何トナレハ隊員中單獨後方ニ退却スル者アリ或ハ負傷セシ者アリ或ハ又負傷者ヲ導ク者アリ或ハ又負傷者ヲ導クト詐ル者アリテ個々ニ散亂セリ彼等ハ皆戰團終了ノ後チ他隊ニ合併サレタリ即チ第五及第七中隊ハ之ヲ東部西伯利狙撃兵第三十四及第三十五聯隊ニ、第六及第八中隊ハ之ヲ同第三十三聯隊ニ合併セリ

又之ト同時ニコンドラトウイチ少將ハ午前七時四十分バチンスキー大佐ヨリ戰局ノ詳報ニ接シタルヲ以テ參謀大尉アレキサンドルニ命スルニ東部西伯利狙撃兵第三十六聯隊ノ二中隊（第十及第十一）ト共ニ龍口方面ニ向テ進出シ一ハ以テ能フヘクンハ敵ノ迂回ニ抵抗セシメ一ハ以テ戰局ヲ觀察セシメントセリ

既ニシテ該中隊ハ龍口北方高地ノ頂界線ヲ占領セリ

敵ハ歩兵三大隊以上ノ兵力ヲ以テ騎兵一中隊ヲ先頭トシ龍口ニ向テ南方ノ各高地ヲ降レリ

又敵ノ砲兵ハ龍口西南ノ陣地ニ進出シ射撃ヲ開始セシモ効果ヲ奏セス是時ニ當リ敵ノ歩兵二大隊餘、騎兵五中隊ト共ニ我歩兵第十及第十一中隊ノ右翼ヲ迂回シ來リテ此等ノ中隊ニ接近シ而シテ騎兵ハ側面ニ現ハレ下馬シテ我中隊ヲ射撃セリ

我歩兵中隊ハ敵ノ優勢ナル兵力ノ突撃下ニ互ニ相掩護シツ、梯次ニ退却セリ是時アレキサンドル大尉戰死セリ

又八時三十分コンドラトウイチ少將ハバチンスキー大佐ヨリ敵砲四十門大房身附近復州河谷ニ向テ降

下セリトノ報告ニ接シタルヲ以テ電話ニ因リ此旨ヲ軍團司令部ニ報告シ且ツ特ニヴエシヨスイ大尉ヲ差遣シテ親ク右翼ノ戰況ヲ具申セシメタリ

又コンドラトウイ少將ハ未タサムソノフ部隊ト連絡ヲ通スルコト能ハサルヲ以テ八時三十五分軍團司令部ニ向テ此旨ヲ尋問セシニ半時間ヲ經テ其答ニ接セリ曰クサムソノフハ大房身ニ在リト然ルニ八時五十分ニ至リ敵ハ大房身南方高地ヨリ陣地ノ右翼(高地ニハ師團司令部アリ凹地ニハ豫備隊及「ロツヤンコ」赤十字部隊アリキ)ニ向テ砲火ヲ開始セリ

軍團司令部ニ於テサムソノフ少將ノ狀況ヲ知悉セサリシハ甚タ怪訝ニ堪ヘサル所ナリ何トナレハ總テサムソノフ報告ノ公文ハ之ヲ有シタレハナリ然レトモ戰鬪ニ參與セシ者ハ皆確言シテ曰ク六月十五日軍團司令部ニ於テハ軍團長ノ外尙ホグルコ大佐、參謀大佐「ドール」、ムスニツキー及イワノフ少將等(退却ノ時)ハ同等ニ指揮ヲ爲シタルノ感アリト

コンドラトウイ少將ハ豫備隊及赤十字部隊ニ命シテ此地ヨリ西方即チ遮蔽物ノ背後ニ移ラシメ躬ヲ幕僚ヲ率テ山嘴北方ノ高地ニ移リ且ツ電話ヲモ移セリ午前十時グルコ大佐、コンドラトウイ少將ノ許ニ來リ之ニ告ケテ曰ク敵ノ迂回ヲ拒支シ龍口方面ニ進出センカ爲メ軍團長ハ同將軍ニ附スルニ其豫備

隊(東部西伯利狙撃兵第三十五聯隊及第三十四聯隊ノ二大隊)ヲ以テセリト是時ニ當リ參謀大尉アレキサンドルノ戰死及其二中隊ノ退却並ニ敵ノ歩兵一聯隊リソフスキ大佐ノ右翼ヲ攻撃ストノ報告アリ因テコンドラトウイ少將ハクラウゼ少將ニ命スルニ殘餘ノ豫備隊即チ東

部西伯利狙撃兵第三十六聯隊ノ一大隊ヲ龍口ニ進出セシメ且ツ同聯隊ノ第十及第十一中隊ヲモ本隊ニ合シテ成ルヘク敵ヲ拒支スヘキヲ以テシ且ツ之ニ約スルニ増援トシテ更ニ東部西伯利狙撃兵第二十五聯隊ヲ差遣スヘキ旨ヲ以テセリ

リソフスキ大佐ハ狀況危殆ナル旨報告セリ當時ノ狀態左ノ如シ

同大佐ハ東部西伯利狙撃兵第三十三聯隊ノ第三大隊及同聯隊ノ第八中隊並ニ同砲兵第九旅團ノ第四中隊ヲ以テ右翼地區ニ據リタリシカ該地區ハ山嘴ノ西北方ニ向ヒ二箇ノ平行高地ニ沿フテ延長セシモノニシテ歩兵第三大隊ハ其南方高地ヲ領シ砲兵第四中隊及歩兵第八中隊ハ其北方高地ヲ領シ而シテ歩兵第八中隊ハ砲兵ノ掩護ニ任シ且ツ地區豫備隊タリキ又歩兵三中队半ハ第一線ト爲リテ塹壕ニ在リ又他ノ半中隊ハ豫備隊タリキ又側面ハホルワート中尉乘馬獵兵隊ヲ以テ之ヲ掩護セリ

又バニユチン中佐ノ中央地區ハ鐵道線路ヨリ復州河ノ西岸ナル高地ニ至ル迄延長セシモノニシテ東部西伯利狙撃兵第三十三聯隊ノ第五、第六及第七中隊並ニ同砲兵第九旅團ノ第一及第三中隊之ヲ占領セリ

敵ハ七時ヨリ我陣地ニ向テ砲火ヲ開始シ右翼ニ於テハ八時四十分頃ヨリ射撃ヲ開始セシカ幾モ無ク沈黙セリ

十時頃ホルワート中尉ヨリ敵兵右翼ニ迂回スルノ報告アリ又是ヨリ先キバチンスキ大佐ノ差遣セシ歩兵第三十六聯隊ノ將校ヨリモ亦同意義ノ報告アリキ

未タ幾クナラスシテ敵ノ歩兵ハ右翼ニ出現セリ因テ包圍ヲ拒支センカ爲メ歩兵第九及第十一中隊ヲ右
方半露里ノ他ニ差遣シ正面ヲ西方ニ取ラシメタリ是ニ於テ始メテ衝突起レリ

十一時頃ニ至リバチンスキー大佐ノ部隊ヨリ負傷兵ノ退却セシ者アリ續テ壯健ナル者モ亦退却セリ然
レトモ該兵ハ各中隊ニ合セリ

優勢ナル敵ハ我密集部隊及散兵ヨリ發射セシ火力ノ猛烈ナルヲモ顧ミス益々攻撃シ來リタレトモ防者
ノ射撃ニ堪ヘサリシニヤ幾回ト無ク伏止シタルモ新銳部隊陸續來リ會セシカハ漸次ニ我塹壕ニ接近ス
ルニ至レリ

午後東部西伯利砲兵第九旅團ノ第四中隊先ツ陣地ヲ撤シ步兵第八中隊ノ掩護下ニ於テ後方ニ退却セリ
時ニ該中隊ノ青年士官ムイシキン少尉ハ半中隊ヲ以テセハ掩護ニ餘リアルヘシト思惟シ自餘ノ半中隊
ヲ率テ陣地ニ還レリ

營ニ砲兵第四中隊ノミナラス砲兵第一及第三中隊モ亦小銃火ノ爲メ損害ヲ蒙リタルヲ以テバニユチン
中佐ノ命ニ因リテ陣地ヲ撤シ步兵第五、第六及第七中隊ノ掩護下ニ退却セリ

リンフスキー大佐ハ敵ノ益々右方ニ進ミ來ルヲ視テ步兵第九及第十一中隊ニ命スルニ敵ノ迂回兵ニ平
行シテ右方ニ進出スヘキヲ以テシタレトモ敵ハ百五十至乃二百歩ノ距離ヨリ猛烈ナル射撃ヲ以テ步兵
第十及第十二中隊ヲシテ其塹壕ヲ撤セシメタルヲ以テ更ニ命スルニ步兵第九中隊及ムイシキンノ半中
隊ノ掩護ノ下ニ退却スヘキヲ以テセリ

各中隊ハ陣地ヨリ陣地ニ轉シ山又山ニ攀チ登リ頭踵相接シ辛ウシテ退却ヲ全ウセリ
是ニ至リテ赤十字旗又現出セリ因テ一時射撃ヲ中止セシモ是レ亦敵カ味方ニ對スル信號ニシテ決シテ
赤十字ノ記號ニハアラサリキ
ムロヅフスキー少將ハ山嘴附近ノ高地ニ在リテ砲兵中隊ノ退却セシヲ視テ高地ヲ下リ且ツ其一中隊ヲ
該村ノ近傍ニ留メ之ニ命スルニ收容陣地ヲ占領スヘキヲ以テセリ是時ニ方リイサコフ大尉及スイチン
二等大尉ハ混亂逃走シ來ル歩兵ヲ集結シ以テ敵ノ攻撃ヲ拒支セント欲シ頻リニ之カ整頓ニ從事セリ
此等ノ動作ハ容易ノ事ニアラス其成效亦固ヨリ期スヘカラサルモノタリ蓋シ將校若シ左翼ニ行カンカ
右翼ニ在テハ密ニ後方ニ逃避センコトヲ企ツル者アレハナリ此等ノ隊員ヲ御センニハ特ニ大權力ヲ有
シ且ツ名譽赫々タル司令官之ヲ指揮スルカ若クハ親シク彼等ノ面貌ヲ熟知セル各指揮官躬ラ之ヲ叱咤
スルノ一法アルノミ然レトモ此事タルヤ戰鬪ノ初期ニ於テモ困難ナルヲ免レス況ンヤ斯カル場合ニ於
テオヤ
中央及右翼地區ニ於ケル撤去ノ狀況實ニ此ノ如シ然レトモ左翼地區ヨリハ戰況終始良好ニシテ東部西
伯利狙撃兵第四聯隊克ク陣地ヲ據守シ砲兵中隊亦射撃ヲ能クストノ報告ハ既ニ數回致サレタリ然ルニ
事實ハ之ニ反シ東部西伯利狙撃兵第四聯隊ニ向テ退却命令ヲ送致セシモ該命令ハ部隊ニ達セス傳令使
ノ復命セシ所ニ據レハ聯隊ハ陣地ニ在ラス且ツ砲側ニ於テモ亦死傷者ノ外一名ノ砲手タモ在ラザリシ
ト云フ該退却命令ハ午後零時二十分東部西伯利狙撃兵第四聯隊ニ發送セラレタルモノナリキ

又十一時頃クラウゼ少將ハ東部西伯利狙撃兵第三十六聯隊ノ一大隊ヲ率キ龍口方面ニ向テ進出スヘキ命令ニ接シ直ニ李家屯南方ノ道路ニ出テタリ幾クナラスシテコレフ中佐ノ指揮下ニ於テ退却シ來ル同聯隊ノ第十及第十一中隊ニ出會シ此ニ同中佐ノ報告ニ接シタリ乃チ同少將ハ一中隊ヲ豫備隊トシテ右翼後ニ殘シ自餘ノ中隊ニ命スルニ圓錐形山ヲ占領スヘキヲ以テシテ同中佐ノ各中隊ヲ左方ノ圓錐形山ニ差遣セリ

敵ノ側面射撃ノ爲メ我右翼ハ後方ニ退却シタルヲ以テ陣地ハ幾分カ西北方ヲ正面トナスニ至レリクラウゼ少將ハ東部西伯利狙撃兵第三十五聯隊未タ來援セサルヲ以テ特ニ人ヲ聯隊長ノ許ニ派シテ之ヲ督促シタリシニ該隊ハズイコフ少將(第九師團第二旅團長)ノ指揮下ニ於テ陣地ヲ領セシカ爲メ分遣スルヲ得ストノ答書ニ接セリ

蓋シグルコ大佐ハ曩ニコンドラトウイチ少將ニ約スルニ總豫備隊ヲ來援セシムヘキ旨ヲ以テシタレトモシタケリベルグ男尉ヲ東部西伯利狙撃兵第三十五聯隊ニ命スルニ砲兵第三十五旅團ノ一中隊ト共ニ龍口北方ノ戰鬪ニ參與スヘキ旨ヲ以テシテ其指揮官トシテ初メドール、ムスニツキー大佐ヲ以テ之ニ任シ次テ又ズイコフ少將ヲ以テ之ニ代ヘタルニモ拘ハラズ遂ニ此旨ヲコンドラトウイチ少將ニ通告セサリシカハ同將軍ハ該聯隊ヲ以テ自己ノ指揮下ニ在ルモノト思惟シタルナリ

狙撃兵第三十五聯隊ハ上述ノ如ク軍團長ノ直接命令ニ從ヒムスニツキー大佐ノ指揮下ニ在テ(退却後ハズイコフ少將之ヲ指揮セリ)午前九時半敵ノ迂回ニ對シテ行動センカ爲メ李家屯ノ北方ヨリ西方ニ

向テ行進シ砲兵第三十五旅團ノ第四中隊ト共ニ布陣シ其第一及第二大隊ヲ第一線ト爲シ第三大隊ヲ豫備隊ト爲セリ而シテ火砲ハ人カヲ以テ輓曳セリ、敵ノ尙右方ヨリ現出セントスルヲ顧慮シ我各中隊ハ更ニ右方ニ轉向セリ是ニ於テ我散兵ハ敵ト接近スルコト既ニ八百歩ニ達セリ又敵ハ尙ホ右翼迂回ヲ繼續セシヲ以テ我ハ之ヲ拒支センカ爲メ更ニ右方ノ高地ニ向テ歩兵第十二中隊ノ半中隊ヲ差遣セリ
午前十一時グルコ大佐ハ後貝加爾哥薩克騎砲兵第二中隊ヲ招致シ人カヲ以テ其砲ヲ輓曳シ陣地ニ就カシメタリ
又東部西伯利狙撃兵第三十五聯隊ハ師團ノ退却部隊悉ク隊側ヲ通過シ終ルニ至ル迄即チ午後三時過ニ至ル迄陣地ニ殘留セリ
コンドラトウイチ少將ハ戰鬪ノ狀況ヲ報告センカ爲メシタケリベルグ男ノ許ニ來リ東部西伯利狙撃兵第三十五聯隊ノ附近砲火猛烈ナル地點ニ於テ同男ニ見エ始メテ該聯隊ノ斯ル任務ニ有ルコトヲ知悉セリ時ニ同軍團長ハ同少將ニ躬ラ東部西伯利狙撃兵第三十四聯隊ノ二大隊ニ命シ同狙撃兵第三十五聯隊ノ左方及クラウゼ少將ノ右方ニ進出セシメタル旨ヲ以テシ且ツ同少將ニ命スルニ陣地ヲ撤去スヘキ旨ヲ以テセリ是レ即チ正午稍過クル頃ノコトナリキ
東部西伯利狙撃兵第三十四聯隊ハ軍團長ノ命令ニ從ヒ午前十一時半ヲ以テ先ツ右翼ニ進出シ次テ又轉シテ獨立樹ヲ有スル圓錐形山ニ移レリ

峻阪ニ沿ヒテ行進スルニ際シ武裝ヲ解クヘキ命アリ既ニシテ第二大隊ハ右翼地區ヲ領シ第三大隊ハ左翼陣地ヲ領セリ又聯隊ノ右方ニ於テハ聯隊ト共ニ來レル哥薩克騎砲兵一中隊モ亦此ニ布陣シテ克ク敵ノ砲火ヲ牽制セシカト敵ハ我歩兵ニ對シテ射撃ヲ集注セシノミナラス盛ニ機關砲ヲ發射セシカハ散兵線ニ在リタル歩兵第五及第九中隊並ニ狹隘ナル地點ニ在リタル豫備隊ハ多大ノ損害ヲ受ケタルヲ以テ左方蔭蔽物ノ後方ニ彼等ヲ移サ、ルヲ得サルニ至レリ

東部西伯利狙撃兵第二十四聯隊ノ各大隊ハ南方ヨリ退却シ來ルヘキ各部隊ノ通過ヲ終ルニ至ル迄即チ三時過ニ至ル迄陣地ニ留マレリ

右翼ニ於ケル狀態此ノ如クナル時ニ當リ各陣地(中央及左翼)ヨリ退却セシ各部隊ハコンドラトウイチ少將ノ指揮下ニ於テ既ニ大ニ整頓シ且ツ同將軍ハ今ヤ敵ノ得利寺停車場ヲ砲撃セルヲ望見セシヲ以テ圓錐形山ヨリ降下セシ東部西伯利砲兵第九旅團ノ第四中隊ニ命スルニ停車場南方ノ陣地ヲ占領シテ砲火ヲ開始スヘキヲ以テ又同少將ハ該停車場ノ東方ニ位置セル散兵ヲ見テ以爲ク是レ或ハ東部西伯利狙撃兵第四聯隊ノ數中隊ナラントシ之ヲモ收メテ自己部隊ニ合併セシメントセリ然ルニ該散兵ハ僅ニ同狙撃兵第四聯隊ノ一中隊半及工兵ノミニシテ殘餘ノ各部隊ハ悉ク既ニ東方ニ向テ退却セシメタルコト判然タルニ至レリ

既ニシテ負傷者ハ陸續トシテ鐵道停車場(該停車場ハ途ニ破壊セラレテ用フルコト能ハサルニ至レリ)ニ群集シ來レルヲ以テ汽車ハ此等ノ負傷者ヲ搭載シ鐵道大隊ノ各部隊ニ因リ搬送セラレタリキ

此後ノ退却ハ得利寺停車場北方ニ布陣セシ後衛ノ掩護ニ依テ實施セラレ該後衛ハ東部西伯利砲兵第九旅團ノ第四中隊及後貝加爾哥薩克騎砲兵第二及第三中隊ニシテムロンフスキー少將之ヲ指揮セリ
我砲兵各中隊ハ山嘴高地ノ頂界線後方ニ隱匿セル敵ノ砲兵ヲ砲撃セリ爾來敵ノ砲火ハ漸ク薄弱トナルニ至レリ

敵ノ迂回ニ對シ我退却部隊ヲ掩護センカ爲メ「トボリスタ」歩兵聯隊ノ各大隊ヲ龍潭後、夾河心ノ線ニ配置セリ該大隊ハサムソノフ少將ノ直接命令ニ因テ進出セシモノニシテ我支隊ハ之カ爲メ大ニ掩護セラレ、ヲ得タリ又夾河心ノ南方ニ於テハコンドラトウイ少將ヨリ第二後衛陣地ヲ指定シ東部西伯利狙撃兵第三十四聯隊及同砲兵第九旅團ノ第四中隊ヲシテ之ニ據ラシメムロンフスキー少將之ヲ指揮セリ漸次敵ノ小銃火猛烈ヲ加ヘ我損害ハ刻一刻多大ト爲リ從テ退却兵ノ混亂モ亦甚タシク而カモ敵ハ益々我右翼ニ接近シ來リ殆ト我背後ニ突出セントスルモノ、如シ然ルニサムソノフ少將ノ配置セシ「トボリスタ」歩兵ハ克ク之ヲ拒支シタレトモ形勢甚タ危険ナリキ偶々驟雨沛然トシテ來リ四面闇黒軍隊モ亦之カ爲メ一時行動ヲ中止セサルヲ得サルニ至レリ既ニシテ天氣復々晴朗ナルニ及ヒ我軍隊ハ纔ニ常態ニ復シ秩序整然北方ニ向テ退却セリ

又ムロンフスキー少將ハ工兵ノ援助ヲ以テ陣地ヲ固守シ而シテ「トボリスタ」歩兵通過ノ後テクラウゼ少將ノ第三後衛掩護ノ下ニ退却スヘキ命令ニ接セリ

上述ノ後衛ハコンドラトウイ少將ノ指定セシモノニシテ爲ニ各軍隊ハ秩序整然トシテ後方ニ退却セ

シノミナラス其舉止甚々沈著ニシテ觀戰外國武官モ驚嘆セリト云フ

四二

軍隊ノ先頭ニハ負傷者及擔架行進セリ而シテ此等ノ群集ハ皆勇猛ニ自己ノ任務ヲ遂行セシ者ニシテ其耐忍其苦痛敢テ之ヲ口ニセサルモ而カモ觀ル者ヲシテ驚嘆尊敬ノ念ニ堪ヘサラシメタリ又東部西伯利狙撃兵第三十三及第三十五聯隊ノ負傷將校ハ自己ノ部隊ヲ離レサリシカ獨リ同狙撃兵第三十四聯隊長ドウベリト大佐ノミ重傷ノ爲メ其他ノ重傷者ト共ニ擔架ヲ以テ搬送セラレタリ蓋シ此等ノ負傷者ハ勇猛克ク戰ヒ傷ヲ負ヒテ倒レタレトモ皆他ノ壯健ナル戰友ニ救ハレ直ニ戰線外ニ搬出サレタル者ナリ各聯隊ノ軍醫及赤十字社ノ醫官ハ負傷者ノ停止スル毎ニ之ニ醫療ヲ施セリ

後衛ハ「トボリスク」歩兵及東部西伯利狙撃兵第九師團ノ各部隊通過セシ後漸次ニ陣地ヲ撤去シ行軍縱隊ヲ以テ裕々トシテ退却セリ

支隊ハ休憩ノ後子夜營ノ爲メ萬家嶺停車場附近ニ向テ行進セリ

軍團ノ全部若シ東部西伯利狙撃兵第九師團各部隊ノ發揮セシ勇猛ト克己力トニ因リ行動シタランニハ好成績ヲ奏シタルヘキ六月十五日ノ行動ハ斯ノ如キ状態ヲ以テ經過シ了ハレリ

抑モ該師團タルヤ西伯利狙撃兵ノ各部隊ニ合スルニ本國各歩兵聯隊中ヨリ來レル者トヲ集成セシ三大隊ト數中隊トヲ以テ編成セシモノニシテ而カモ編成後未タ幾クナラヌシテ直ニ此苦楚ヲ嘗メサルヘカラサルニ至リタレトモ能ク之ニ耐ユルヲ得タリキ蓋シ此部隊ハ數箇月前ヨリ志氣旺盛ヲ極メ第一戰ニ於テ既ニ該師團ノ編成者タルコトヲ知テトウイチ少將ヲシテ成功ヲ約シ全蹙ヲ豫期セシメタリシニ惜ム

ヲクハ前述セシカ如ク六月十五日ノ戰鬪ニ於テ全局ノ大勢ヨリシテ遂ニ不測ノ損害ヲ被リ且ツ退却セサルヲ得サルニ至レリ

得利寺ノ戰鬪ハゲルングロツス少將ノ攻撃ニ對スル要求ヲ十分ニ充スコトヲ得サリシ我軍團司令部ノ無能ヲ表白セシモノタリ同少將ト雖モ時機ヲ失シ措置ヲ誤リタルコト無キニ非サルモ畢竟此戰ヤ初戰ニシテ其部下中現代戰鬪ノ指揮ニ關スル實驗ヲ有セシ者一人タモ之有ラサリシニ歸セサル可ラスレ損害、遺棄品是レ固ヨリ遺憾無シトセス然レトモ我軍ヲシテ免カレ得ヘキ失敗ヲ敢テセシメシハ殊ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ若シ各軍隊悉ク直接戰鬪ニ參與シ且ツ各能ク其連絡ヲ保ツコトヲ得タランニハ敵ヲシテ恣ニ我兵ヲ壓迫セシムル如キ事アラザヤ

然レトモ東部西伯利狙撃兵第九師團ハ上師團長ヨリ下一兵卒ニ至ル迄公然悉ク自己ノ全力ヲ盡シテ任務ヲ實行セリト斷言シ得可シ況ンヤ彼等ハ甚タ優勢ノ敵即チ後日ニ至リテ既ニ判明セシカ如ク歩兵三師團ヨリ成ル大敵ニ對シテ交戦セシモノタルニ於テオヤ

我軍隊ノ一朝北方ニ退却スルヤ管ニ旅順口救援ノ計畫ヲシテ全然破壊セシメタルノミナラス再舉ヲ企ツル事モ亦困難ナラシメタリ何トナレハ敵ノ岫巖ヨリ我背後ニ出ツル虞アル爲メ迅速ニ退却セサルヘカラサルニ至レルヲ以テナリ

叙シ來リテ此ニ至レハ侍從將官クロバトキンノ所見ハ實ニ正確ナリシヲ證明シテ餘リアリトス蓋シ同將軍ハ管ニ敵ノ攻撃ハ我南方ニ向フ行動ト一致スヘキヲ先見セシノミナラス未タ決戦ノ時期ニ達セサ

ルモノト思惟セリ然レトモ同將軍ト雖モ縱令ヒ戰鬪ヲ交ヘ吾人防守ノ位置ニ立ツトモ其準備ト云ヒ又其指揮ト云ヒ支隊指揮官ノ能力此ノ如ク不完全ナルモノナルヘシトハ蓋シ思惟セザリシナラン世人或ハ得利寺ノ戰鬪ヲ目シテ我旅順口救援行動ノ目的ニ對シ若干ノ成果アリト認ムル者アリ然レトモ余ハ此說ニ同意ヲ表スルコト能ハス何トナレハ敵ノ北方ニ攻進セル時期ハ既ニ此方面ニ對シ新タニ作戰スルノ企圖ヲ取リシ時ニシテ換言スレハ我軍ハ既ニ敵ノ兵力ヲ旅順口方面ヨリ牽制シタルニアラスシテ寧ロ之ヲ防禦スルヲ要スルノ時期ニ在リタリ然シテ爲シ得レハ之ヲ擊破シテ其新企圖ヲ破ルヲ要セシナリ

又侍從將官クロバトキンヲ誹譏スル者アリ曰ク彼ハ太守ヨリ歩兵四十八大隊ヲ以テ攻撃スヘキ要求アリシニ拘ハラス僅ニ三十二大隊ヲ以テ行動ヲ開始セリト然レトモ彼ハ第十軍團ノ來著ヲ待チ其援助ヲ受ケテ任務ヲ遂行セシト欲シタルニアラスヤ得利寺ノ戰鬪ハ敵ノ攻撃ニ移リタル結果特ニ起レル偶發戰ナルモ軍司令官ハ夙ニ之ヲ憂慮セシナリ

旅順ニ至テハ之ヲ自然ノ運命ニ委セリ而シテ同要塞ハ實ニ世人ノ豫想以上克ク久シキニ耐ヘタリ換言スレハ旅順ハ遼陽會戰後ニ至ル迄克ク其運命ヲ全ウセリ然レトモ該會戰ノ結果ハ終ニ旅順ヲ救済スルヲ得サルニ至ラシメタリ嗟

附 錄

戰鬪前ニ於ケル東部西伯利狙擊兵第九師團各部隊ノ人員

砲 第 第 第 第 師
 兵 三 三 三 三 團
 第 十 十 十 十 司
 九 六 五 四 三 令
 旅 聯 聯 聯 聯 部
 團 隊 隊 隊 隊 部

砲 第 第 第 第 師
 兵 三 三 三 三 團
 第 十 十 十 十 司
 九 六 五 四 三 令
 旅 聯 聯 聯 聯 部
 團 隊 隊 隊 隊 部

六月十五日ノ損害

戰 佐
 死 一 一
 負
 官 傷 官
 尉 尉
 死 一 一 一 一 一
 負
 官 傷 官
 下 下
 死 二 三 六 八 一 六
 負 三 三 六 四 一 五 二 三
 傷 三 〇 八 二 二 六 一 一 五 一 三 六
 士
 不 行 一 四 三 一 四 一 五
 明 衛 卒

將 官 佐 官 尉 官
 三 一 四 四 二 三 四
 一 一 三 三 三 三 四 二 三 四
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 九 二 六 八 〇 二 二 四 六 二 一 七 一 五 五 一 一
 五 八 〇 二 四 六 二 〇 七 一 一 九 三 七 一 二 〇 四 八
 七 三 九 六 一 四 二 二 三 七 八 〇 一 八 三
 七 三 九 九 三 二

四五

1725

合

計 將 校 二四 及 醫官

六月十五日ノ戦鬪ニ參與セサル部隊

東部西伯利狙撃兵第三十三聯隊第一大隊

但シ其大部ハ途中ニ在リ他ノ一部ハ諸行李ノ掩護ニ従事セリ

同第三十六聯隊第九第十二中隊ハ諸行李ノ掩護ニ従事セリ

砲兵第九旅團ノ第二中隊ハ營口ヨリノ途中ニ在リキ

六月十五日ニ於ケル彈藥ノ消費額

第三十三聯隊 二三五、三六〇

第三十四聯隊 一八、六〇〇

第三十五聯隊 七〇、三七五

第三十六聯隊 一〇六、八〇〇

砲兵第九旅團第一中隊 五三八

同 第三中隊 一六五

同 第四中隊 三三三

馬匹及物品ノ損害

馬 匹 小銃 雜 銃 外 套 乾 糞 手 拭 軍 衣 袴

四

一〇一四
一〇三九

6571

1726

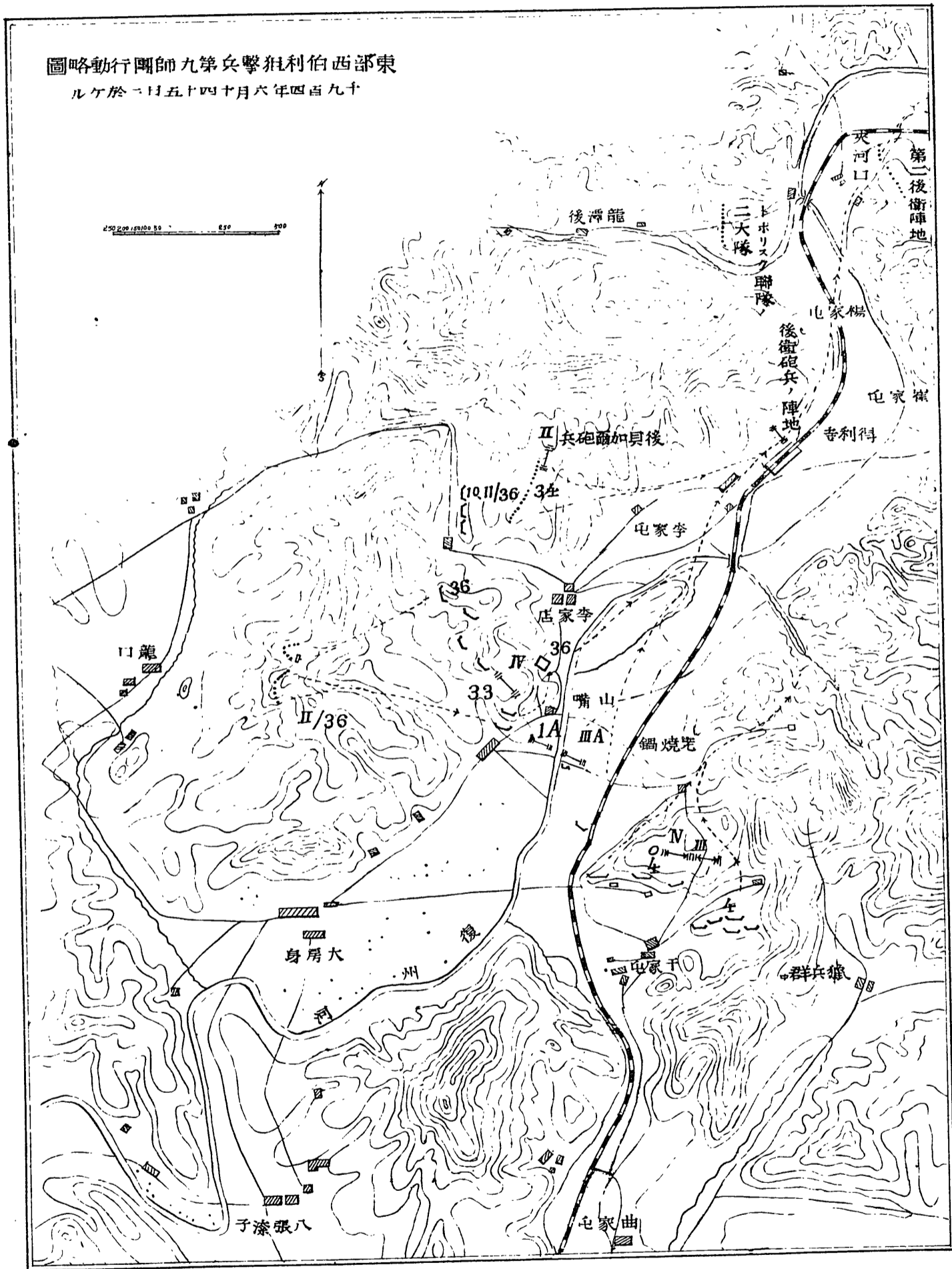
砲	第	第	第	第
兵	三	三	三	三
第	十	十	十	十
九	六	五	四	三
旅	聯	聯	聯	聯
團	隊	隊	隊	隊
<hr/>				
三	二	一	一	五
七	三	〇	〇	
	一	二	二	九
	一〇	〇六	二六	七七
	二	二		四
	四四	七七		〇六
		三	二	四
		一〇	七八	四一
	一	六		八
	六	二		〇九
	八	八		三
一	一	一		二六
		二		
		九八		二
		三		一
		〇二		三

四七

1727

東部西伯利亞利貝爾擊兵第九師團行動略圖

十九百零六年十月四日五於ケル



1728